



令和8年度 No.4

駒岡小学校だより

7月号

「愛」を大切にする夏休みに

児童支援専任 小川 真代

先日、本校ではスクールカウンセラーを講師に迎え、教職員を対象とした傾聴研修を行いました。

研修では、「相手の気持ちを理解しようとする」「まず受け止めること」「相手に寄り添うこと」の大切さについて学びました。私たちはつい「どうするのが正しいのか」「何が正解なのか」を考えがちです。しかし、子どもたちが本当に求めているのは、正しい答えを教えてもらうことよりも、自分の気持ちを分かろうとしてもらうことなのかもしれません。

私は全校朝会などで、子どもたちに「愛を大切にしよう」という話をしています。

ここでいう愛とは、

- ・自分を大切にする気持ち ・人を大切にする気持ち
- ・物を大切にする気持ち ・生き物を大切にする気持ち
- ・地域を大切にする気持ちのことです。

自分の心や体を大切にする。友達や家族を思いやること。

身の回りの物を丁寧に扱うこと。命あるものを大切にする。

そして、自分たちが暮らす地域に感謝すること。

こうした一つ一つの行動が「愛」につながると考えています。



もうすぐ夏休みです。ご家庭で過ごす時間が増えるこの時期だからこそ、お子さんの話に耳を傾ける時間を大切にしていいただければと思います。

「今日はどんなことが楽しかった?」「何か困っていることはない?」「誰かに優しくできたことはあったかな?」そんな何気ない会話の中に、子どもたちの本当の気持ちが見えてくることがあります。夏休み中も、子どもたちが自分自身を大切に、周りの人や物、生き物、地域を大切にしながら過ごしてほしいと願っています。

また、気になることがありましたら学校へご相談ください。学校カウンセラーによるカウンセリングは夏休み中にも開催日があります。学校と家庭が共に力を合わせながら、子どもたちの安心と成長を支えていきたいと思っています。